

平成19年5月29日 記者会見 会頭発言要旨

○2008年サミット外相会合の開催支援体制について

2008年サミットの外相会合の開催地が京都に決定した。それを受けて、これまで首脳会合の誘致を進めてきた「2008年関西サミット京都誘致推進協議会」は解散し、外相会合の開催支援組織を設立する。設立時期などの詳細については、京都府、京都市、関連団体と調整中。

京都産業界としても、開催を歓迎し、オール京都体制で支援できるよう協力していきたい。

○京都商工会議所の動き

■本所次期3号議員の選任について

現在の本所議員の任期が、平成19年10月末で満了することに伴い、本日の常議員会において、次期3号議員22名を決定した。それ以外の議員選任については、7月に12部会に割り当てられる2号議員52名が決定し、10月に行われる議員選挙で1号議員76名が決定する。平成19年11月1日から、計150名の新議員での体制がスタートする。任期は3年間。

■京都高速利用促進協議会の設立について

京都高速道路の「油小路線」と「新十条通」が、来年開通する予定である。本所をはじめとする経済界では、利用者の立場から、完成した高速道路の積極的な活用を検討していく場として、「京都高速道路利用促進協議会」を設立する。現在、企業や団体に対し協議会への参加を呼びかけており、6月8日（金）に設立総会を開催する。

■21世紀の企業・経営大会2007の開催について

「21世紀の企業・経営大会2007」の企画概要が固まってきた。9月11日の午後に開催予定で、中堅・中小企業の新たな活力の創出と京都産業の振興に資することを目的とする。特別講演として、株式会社三井物産戦略研究所の寺島実郎所長に講演いただく予定で、学生ベンチャー、若手・女性起業家などを中心とした企業展示会も併設する。

■ロンドン・京都庭園剪定団派遣について（6月3日～12日）

1991年に本所が寄贈した京都庭園が、ロンドン・ホランドパークにある。3年に一度、京都府造園協同組合、造園建設業協会に協力いただき、剪定・補修のために庭師を派遣している。本年度はその派遣年にあたる。

■専務理事辞任について

小堀脩専務理事が5月末日をもって退任する。小堀氏は、平成7年4月に就任以来12年にわたり、事務局の責任者として、稲盛元会頭、村田前会頭を強力にサポートしてきた。後任は、本所の奥原 恒興(おくはら つねおき)常勤参与をしばらくの間、専務理事代行とし、7月の常議員会、通常議員総会で承認を頂いた後、正式に専務理事に就任させる予定。奥原氏は、京都府OBとしての実績、素養が十分にあり、適任と考えている。

以上